FUKUCHI

Public Relations

No.144 December

広報ふくち

2017 12

特集

命をつなぐ

生きることは、食べていくこと。

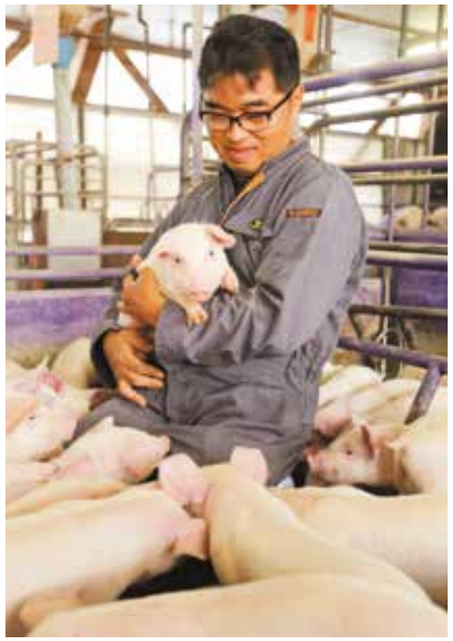
お金さえ出せば食べたい物が手に入る。
今ではごく当たり前のことかもしれない。
そんな食があふれている飽食の時代。
物の豊かさゆえに、大切な心が
見失われつつあります。

「あたりまえ」を振り返り見えてくる食の向こう側。

私たちの体は食べた物でできています。
だから、何をどう食べたかで
心と体は変わっていくし、
どう食べるかは、どう生きるかに
つながっています。
生きることと食べること、
そのつながりを見つめ直すことで
浮かび上がってくる大切なこと。
現代の食が私たちに問いかけている
食の向こう側について考えます。

一滴も余すことなく。

伊方小3年生の初の調理実習「ざる豆腐づくり体験」。11月7日に地元の女性農業者が53人の子どもたちに手ほどきしました。「ざる豆腐」のほか「ご汁」や「おから」など、絞り汁も余すことなく使われた大豆。昔ながらの手間を体感し、姿を変えた大豆に感動した子どもたちは、できたての格別な味をかみしめました。



幼少から親の養豚を手伝い、進学した東京農大でも畜産を研究。ブランド豚「乳豚」を開発し、「豚肉工房うめちく」を町内に開業。

「必ずやって来る数か月後の別れ、感謝しない日などありません」

豚肉工房うめちく **梅田秀美**さん

一番悲しいのは食べ残して捨てられること

「こうしてね、生まれてすぐ、まだ目が見えないのにおっぱいを探して飲むんですよ」。幼いころから親が営む養豚に携わり、50年になる梅田さん。今日も生まれて間もない子豚に、やさしいまなざしを送ります。

豚とは家族のように接してきたという梅田さん。子どものころ、人懐っこく寄ってくる子豚に名前をつけないよう我慢していたと言います。

「幼いながらに、数か月先には別れが来ることを知っていましたね。豚の命のおかげで私たち家族が暮らせることも理解していました」。

小学生のころから豚舎の掃除や去勢の手伝いまで、当たり前のようにしてきた梅田さん。進学していくにつれ、豚への感謝は深まっていきました。

食材をムダにしないよう、施設などから出た残飯を回収しエサに活用。町内の学校とも40年以上の付き合いです。「ムダなゴミではなく、豚のエサになるなら」と、少量でも回収を頼まれることに喜びを感じています。そんな低カロリーのエサに乳酸菌を加えて育てた「乳豚（にゅうとん）」は、今や県を代表する全国ブランドになりました。

「『おいしい』『ありがとう』という声が何よりの励み。味わって食べてあげることで、豚たちが報われます。一番悲しいのは、食べ残して捨てられることです」。

どんな気持ちで育てているか、どんなエサで育っているか。笑顔に出会うため、梅田さんは伝え続けます。

「豚の気持ちを分かろうとする日ごろからの姿勢が豚にも伝わる」と語る梅田さん。

食と日本

忘れかけている日本のこころ

もったいない

環境活動の大切さを一言で表し資源や食べ物に対する尊敬の念を込めた言葉「もったいない」。その日本の精神が改めて注目され、世界で称賛されています。

column 1

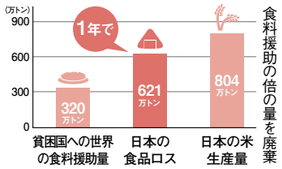
当たり前でなかった昔

昔は土間にあった炊事場

生ゴミやし尿も資源として循環させていたかつての日本。器に一粒の米粒も残さない「もったいない」の精神が根付いた生活でした。しかし、高度経済成長後は飽食の時代を迎え、今では24時間いつでも自由に食品が買える環境になっています。

column 2

薄らぐ食のありがたみ



日本では食品全体の3分の1にあたる2,775万トンを1年間に廃棄しています。そのうち「食品ロス」は年間621万トン。世界では約8億人が飢えに苦しむ中、日本では1秒間におにぎり1,790個分の食品が、食べられるにもかかわらず捨てられているのです。

※本来食べられるのに捨てられた食品

命の授業

市場小2年生一道徳一梅田秀美さんによる特別学習

11月16日に市場小学校で行われた授業「梅田さんちの豚肉」。2年生57人が現場の声を受け止め、現実を見つめ、食べることと命のつながりを考えました。

豚が加工される食肉市場の写真を手に、授業で語りかける梅田さん。子どもたちはだれも目をそらさず、命と食への理解を深めていました。

「豚たちはここで、『いきもの』から『商品』に変わります」

出荷した豚が写る食肉市場の様子を見せながら、梅田さんは命が商品に変わっていく現実と豚への思いを子どもたちに語りました。

「送り出す日、よく大きくなってくれたね、ありがとうねって、何度も豚をなでます。お前たちのおかげで、うちの家族もごはんを食べていける。子どもたちが学校に行けるって、心から感謝の気持ちを伝えています」。↘

梅田さんが育てた豚が、給食でみんなに届くまでをまとめた命の授業。生まれた瞬間から一生懸命におっぱいを探す子豚の様子や、言葉は通じないけれど常に声をかけながらお世話をしていること。人間と同じように豚が兄弟げんかをする様子や人間の気持ちが伝わる場面など、豚の成長の過程を子どもたちに分かりやすく、写真を交えて説明しました。

言葉は通じないけど気持ちは伝わる

「おじさんが飼ってる豚はね、生まれて半年で、お肉に変わる場所に行かなきゃいけない。お別れの日、〝ここにいたいよ〟って豚は必死に抵抗します。それでも家畜として生まれたからには、最後はお肉として一生を終えるのが運命だろうと思います。悲しい現実です」。

お肉にも命があった商品の向こう側

多くの人が携わっていることを伝えるため、食肉市場で現場の声を直接聞きに行った梅田さん。

「豚だって死にたくない。その命の重さを知るからこそ、自分の仕事に誇りを持っています」と言われ、ハッとしたと振り返ります。

「愛情をもって、手間暇かけて大切に育てた豚を、食肉市場の人が立派な商品にしてくれます。豚にとっては、おいしく食べてもらえるのが一番うれしいこと。命が活(い)かされること。だからこそ、健康な豚を丹精込めて育てようと改めて思いました」。

命について伝えようとすればするほど、その意味の深さを考えさせられたという梅田さん。愛情込めて豚を育て、自信を持って提供してきたからこそ、生きた言葉が子どもたちの胸に響きます。

「お店でパックに詰まっている豚肉があるよね。牛肉や鶏肉もある。そんなお肉は全部、数日前まで生きていた命なんです。たくさんの人が関わって、手をかけ、移動して、買われて、調理されて、みんなのお口に入ります。おじさんはね、少しだけみんなに考えて欲しいんだ。お肉にも命があったことを。どういう風に育って、どんな人が関わってきたのか。その奥に、向こう側に、何があったのかを考えられるような、やさしい人になってもらいたいと思います」。

「おいしく食べてもらえることが、豚にとって一番うれしいこと。命が活(い)かされること。」

体力が無く、寒さに弱いため、母豚のおっぱいを飲まなければ体温を維持できない子豚たち。生きるために、必死でおっぱいを求めていく。

必ず向き合わなければならない別れの出荷。物心ついたときから豚舎があった梅田さんにとって、命をもらって自分の命を感じる日々が続く。

県の重点課題の研究指定校として、体育と食育を2年間学んできた子どもたち。豚がお肉に変わる場面では「かわいそう」と静かにつぶやく子や祈るように見守る子もいましたが、最後まで真剣なまなざしで、梅田さんの話に聞き入っていました。

食と炭鉱

**先人が築いてきた食と
今も変わらない食**

歴史映す食

明治26年の金田駅開業以降、明治鉱業赤池や三菱方城炭鉱などの大鉱山が生まれた町内。筑豊全体が炭鉱景気に沸く中、郷土の食も変化していきました。

column 1

鮮魚の流通と魚市場

魚市場があった金田商店街

鉄道と共に急速に整った鮮魚の流通。三菱豎坑が完成した明治41年には早くも金田魚市場が開業します。事故や死と常に隣り合わせの坑内作業員にとって、食は大きな楽しみ。魚市場の鮮魚は、各地から集まった作業員の心も満たしました。

column 2

孤児救う方城すいとん

大非常で親を失った孤児

炭鉱景気の華やかな食があった一方、ふるさとならではの食も今に残っています。「方城すいとん」は、大正3年に起きた国内最大の炭鉱爆発事故「方城大非常」がルーツ。長屋の人々が具材を持ち寄り、孤児たちに振る舞った心温まる料理です。

「携わった人の手を思うからこそ、最高の状態で魚をつなぎたい」

筑豊魚市場 **内野 達也** さん

活魚を手掛けて34年、漁場の信頼を集める内野達也さん。真心のリレーを食卓までつなぐことを信念に、魚と向き合っています。

大切に運ばれた魚たち その尊さをつなぐ

海のないこの町で、漁港さながらの光景が繰り広げられる筑豊魚市場。その一角の生簀に、鯛や鰤など数種類の魚が泳いでいます。週末は1日5百匹以上がここで「活じめ」され、鮮魚店や料理屋へと運ばれていきます。

「鮮度を保つには、魚にストレスを感じさせないことが第一。常に真剣勝負で、大事に作業をしています」。

筑豊魚市場で活魚の出荷を担う内野さん。実に手早い作業で、魚に触れる時間を最小限に、数秒で神経を抜き、血抜き処理を施していきます。

「海に出た漁師や漁船が何重にも管理して、漁場が大切に扱い、活魚車で長い距離運ばれてきた魚たちですからね。ここで気を抜くわけにはいきません」。水質や温度など、魚の命と向き合う生簀。その背景や関わる多くの人たちの生活を知る内野さんは、日々入念に魚体を観察します。

「幼いころは、私の家でも生活のために鶏を飼っていたし、釣った川魚もさばいて食べた。昔は命がもっと身近でしたよね」と振り返る内野さん。命の重みを知っているからこそ、集中し、黙々と作業を続けます。

「ここまで、どれほどの人の手を介してきたか。漁場から託された魚の価値をつなぐのは私たちです。できる限り、最高の状態で次の場所へ届ける。それが私の使命です」。

関わってきた人たちの思いや労を感じ取ることで、食への感謝は深まっていきます。

炭鉱の時代から鮮魚にはうるさい筑豊。その水産物流を担う拠点、筑豊魚市場。

「作物は人の足音を聞いて育つ。確かに生きとるんです」

ほうじょう特産館ふくちの郷 **持丸 勝利** さん

「野菜も人間と一緒。野菜が喜ぶことをしてあげると元気になる」と持丸さん。愛情かけた野菜を特産館をとおして食卓に届けます。

育ての苦労を知ることでありがたみを実感できる

「今の都会の子にとっては肉はパックに入ったもの、米は精米されて袋に入ったものというイメージなんよ」。

畑で野菜の様子をチェックしながらそう話すのは特産館ふくちの郷を営む持丸さん。7年ほど前から地域の老人会のメンバーと一緒に、作物がどう育つかを弁城小の子どもたちに教えています。弁城小の畑は校舎のすぐ裏。持丸さんの畑と隣接しています。

「土の踏み固まりや葉のしずくを見ただけで、子どもたちの姿が目に浮かぶ」。持丸さんは田植えや稲刈りの体験の日以外でも、子どもたちが毎日作物に目をかけ、水を与えて雑草を取っていることを知っていました。

「弁城小の子たちは、少なくとも米が土から成長していく姿、生きた米の本来の姿を知っとる。だから食べ物は命だと、ちゃんと実感できとるんよね。弁城小ではおかわりする子が多いみたいで、うれしいよ」。

大根、水菜、ブロッコリーなど年間に数十種類を全学年で育てる弁城小。当然、苦労もあり、収穫前のスイカが動物に荒らされたことも。その際、子どもたちが自ら柵の設置を考案し、地域のかたが協力したそうです。

「大変な時もあるやろうけど、子どもたちが真剣に作物と向き合うから、私たちも自然と応援したくなるんよ」。作物を育てることがどういうことか身をもって知るからこそ、そこに命を実感できる。食に感謝する心がこの町で育まれています。

田植えから稲刈りまで地域と一緒に汗を流し、喜びや苦労を分かち合う弁城小。

食と学校

**学びの現場が取り組む
食育と地産地消**

命つくる食

食べたものでできている私たちの体。「体や心が食べ物にどう支えられているか」「何を選びどう食べるか」をふるさとの風土や産物が私たちに教えてくれます。

column 1

ふるさとの土から学ぶ

園児と児童合同の収穫体験

弁城小と第一保育所の子どもたちが地域のかたと一緒に行う苗植えと収穫体験。自らが手掛けることで食への関心が高まります。ふるさとの大地に触れ、作物を育み、収穫を喜び、体に取り入れる過程から、子どもたちは食育の本質を学びます。

column 2

食と人つなぐ地産給食

11月17日の「福智給食の日」

成長期の体をつくる役割が年々高まる年180回の給食。町内全8校では毎月の「福智給食の日」をはじめ、地元の食材をできる限り取り入れています。子どもたちは生産者を思い、旬を感じることで、郷土と食と人との結びつきを身近に感じています。

特別インタビュー　助産師一　内田美智子先生

命をつなぐ

命が大切——。誰に言われなくても分かっているはずなのに、日々の生活の中でそれを実感する機会は、そう多くはありません。キラキラと輝く命の誕生の瞬間と向き合い38年になる内田美智子先生。いただいた命を命でつなぐことの大切さについて、お話をうかがいました。

人生は奇跡と奇跡の積み重ね。「あたりまえ」のことなんて何もありません。

私は22歳で初めて赤ちゃんを取り上げ、3千人ほどの輝く命の誕生を見届けてきました。赤ちゃんの産声、宝物のようなわが子に出会えて涙する母の顔…生まれてくることの尊さを、日々実感しています。昔は「お七夜」をお祝いしていたように、生後の赤ちゃんが7日間無事育つことさえ難しかった。それだけお産、そして生きていくことは「奇跡」の連続なんです。

現代でも中絶、流産、死産もある中で、子どもが無事に産まれ、成長することは奇跡。奇跡と奇跡が積み重なって、今そこに命があるのだと知ってほしいのです。

昔は出産も死も病院ではなく家で、身近に感じられていました。命の大切さは、頭では理解していても、常に意識することは難しい。でも目の前にわが子がいること、自分が今生きているということは「当たり前」のことではないのです。

人はそこにいるだけで価値がある

「あなたは、何の命をいただきましたか?」と問いかけることがあります。「いのちをいただく」という私の本をとおして、今まで食や命について多くの人に伝えてきました。肉や魚、穀物の命ももちろんあります。でも、まず初めに、お母さんから命をいただいているんですよね。お母さんは命がけであなたを産んだ。お母さんの体を傷付けなければ、命は誕生しないんです。〝親から何もしてもらってない〟ことなんてないし、親からたくさんの手をかけてもらって私たちは成長してきたはずです。

逆に、私たちは親に何をしてあげたでしょうか。命をいただくばかりで、いただいた命を返すことはできません。ですが日々の暮らしの中で、あなたにしかできないことが、たった一つだけあります。それは、今、ここにいるということ。生きていることです。人は、そこにいるだけで価値があるのです。

だとしたらせめて感謝しないと

出産、育児も食育も、根底にあるのは「命」への感謝。ありがとうという気持ちを持てるかどうかです。食べ物もそう。人間は、たくさんの命をもらいっぱなしです。だけど人間は食べなければ生きていけない。いただいた命は、命でつないでいくしかありません。だとしたら、せめて感謝して、残さず、おいしくいただくこと。そうして自分が生きていくために、その命を活かすということが、何よりの感謝ではないでしょうか。

いただいたすべての命に恩返しするためには、生きること。精一杯生き抜き、生き尽くすことです。

感謝の気持ち、命の重み、それを実感し、十分に伝えていくことは、今の時代、難しいかもしれない。だからといって、何もしなければ、何も変わりません。まずは一人でも多くの親子に「生まれてきてくれてありがとう」「生んでくれてありがとう」と思い合える気持ちを育んでほしいと願っています。

命に恩返しすることは生きること。精一杯生き抜き、生き尽くすことです。

人は命をいただいて生きている。いただいた命は、命でつないでいくしかありません。

プロフィル●内田 美智子（うちだみちこ）
内田産婦人科医院（行橋市）助産師・思春期保健相談士。子育て支援、いのちの教育、人権、食育などの講演を年間150回ほど学校や地域で行う。著書・共著に「ここ 食卓から始まる生教育」「いのちをいただく」「お母さんは命がけであなたを産みました」「あなたが生まれた日」がある。

↑今回のインタビューをきっかけに実現した講演会。命と長年向き合ってきた内田先生による心に響く貴重なお話です。

感謝の気持ちを込めて ―― いただきます。

午前中に梅田さんの特別授業が行われた11月16日の給食。乳豚を使った「ポークビーンズ」をはじめ、「ほうれん草のソテー」や「揚げパン」などのメニューをみんなで囲みました。子どもたちは残さず、おいしく味わいながら、命と食への意識をさらに深めました。

市場小学校給食 ―梅田さんちの豚肉― 命をいただく

命に感謝

命について学んだ授業の後、梅田さんを囲んでの学校給食。梅田さんが大切に育てた「乳豚（にゅうとん）」が主材のメニューです。命と食のつながりを何よりも実感した子どもたち…感謝の気持ちを込めた言葉が教室に響きました。

感謝と心を込めた「いただきます」

「さあ、食材を育ててくれたのは誰か、調理してくれたのは誰か、どんな顔で食べたら喜んでくれるかを考えながら手を合わせましょう」。担任の中川先生の呼びかけの後、2年1組の教室には自然と子どもたちの心が込められた「いただきます」が響きました。

食べ物への感謝を表す身近な言葉「いただきます」。「私の命のために、大切な命をいただきます」という気持ちが含まれています。自分の命が支えられ、↘多くの命に生かされていることを実感できる子や、食の向こう側を想像できる子は、自然と心から「いただきます」が言えるようになります。

今から103年前、671人が犠牲になった国内最大の炭鉱爆発事故「方城大非常」がこの町で起きました。12月15日には町内すべての小中学校で黙とうをささげ、孤児を支えた郷土料理「方城すいとん」を給食で味わい、命と食への感謝と学びを深めます。

いのちをいただくということ

飽食といわれる時代。物にあふれた豊かさゆえに、失っているものに気づかされます。食への関心の先には、健康や環境、農業、教育などの社会問題が横たわります。物があふれて豊かなはずなのに、増加するいじめや虐待、自殺など、心の豊かさには深い影を落としています。

食のありがたみは、命の重さで伝えるしかありません。

店頭にはふんだんに食材が並び、お金さえ出せば手を汚すことなく豊富な食がいつでも手に入る時代。いつしか生産者と消費者の距離は広がり、現場や作り手の苦労や思いが見えなくなってきました。実際は多くの人の手がかけられてはじめて私たちは食べ物を口にできます。しかし、物に満ちあふれている今、そのありがたみを伝えることが難しくなっています。

生きることは食べていくこと。食べ物はすべて、種を残そうとする命です。人が生きるということは、命をいただくということ。しかし、私たちは奪われた命の意味も考えず、無意識のうちに目の前のものを食べてしまいがちです。

「食べること」は本来、当たり前のことではなく、貴重な生き物の命や自然の恵みをいただく「有り難い」ことでした。人は無数の命に支えられていることを実感しなければ、食べ物のありがたみを理解することができません。いただく命のありがたみは、命の重さで伝えるしかありません。

食へのありがたみや感謝、命の尊さが分かれば、もっと自分を大事にできるし、人にやさしくなれます。命と食への意識づけは、決して難しいことではなく、毎日の食卓から少しずつでも変えることができます。まずは心を込めた「いただきます」と「ごちそうさま」から。命への感謝の積み重ねが、真に豊かな食と未来へとつながっていきます。

地元への就職意欲向上を目指して

平成筑豊鉄道車内で就活列車

5企業の社員がパネルなどを用いて仕事内容を説明

平成筑豊鉄道の車両内で沿線企業が魅力を伝える「就活列車」が、10月24日に田川伊田～直方駅間を運行しました。地元への就職意欲の向上と地域活性化を目的に、田川公共職業安定所と福岡労働局、田川市、福智町が主催して今年で3回目。製造業や介護施設など5社の社員が列車に乗り込み、自社をPRしました。田川地域の3高校から参加した2年生43人は、列車に揺られながら社員の生の声に真剣に聞き入っていました。

Finding employment

Experience Learning

冬の大自然で生きる力を育む体験学習

大自然を舞台にした体験学習「少年のバス」に参加してみませんか。詳しくは12月上旬に学校で配布するチラシをご覧ください。

日時 ▶ **2月9日(金)～11日(日)(2泊3日)**
場所 ▶ 広島県やわたハイランド191リゾート
対象 ▶ 町内の小学5年生～中学2年生
申込 ▶ 学校で配布される申込書を12月21日(木)までに生涯学習課へ提出
事前研修 ▶ 1月21日(日)(参加必須)
問 生涯学習課 社会教育係 ☎22-1521

広大な敷地でのスキーや集団生活で貴重な体験を

平成29年度 冬季少年のバス

インフォメーション&ニュース in FUKUCHI

旧交温まる人生の門出と大人への第一歩

Coming of age ceremony

新成人への祝福と期待を込めた「福智町成人式」が下記の通り開催されます。一度きりの晴れの舞台に、ぜひお集まりください。

日時 ▶ **1月7日(日) 13:00受付 14:00開式**
場所 ▶ 地域交流センター(伊方4480-1)
対象 ▶ H9.4.2～H10.4.1生まれで、町内に住民票がある人および町出身者。
※対象者には11月に案内状を送付しています。参加予定で案内状が届いていない人はご連絡ください。
問 生涯学習課 社会教育係 ☎22-1521

なつかしい顔ぶれと思い出話に花を咲かせませんか

平成29年度 福智町成人式

小学生向け認知症サポーター養成講座

子どもたちに認知症の正しい知識を

Dementia support

記憶に見立てた球を受け止め脳の機能を学ぶ上野小の児童

全国的に加入者が増えている、認知症の人と家族の応援者「認知症サポーター」。町で初の小学生に向けた養成講座が9月と10月に行われ、授業で福祉を学ぶ町内全小学校の4年生214人が理解を深めました。講座を支援するボランティア「キャラバンメイト」が紙芝居やゲームを交え、親しみやすく認知症の症状や向き合い方を説明。楽しみながら知識を高めた児童に、サポーターの証し「オレンジリング」が贈られました。

福智町図書館・歴史資料館
ふくちのち
http://fukuchinochi.com
10:00-19:00
福智町赤池970-2
☎28-2855

12月 ふくちのち イベントカレンダー

1	金	休館日	限定50本	
2	土	10:00-	ふくおかの花プレゼント	
		11:00-11:30	ぶらんこのおはなし会	
		14:00-15:00	クリスマスの飾り付けWS	★
			河村光陽展初日	
3	日	10:30-12:00	フラワーアレンジメント講座	★¥
		15:00-16:30	えいごのおはなし会	★
4	月			
5	火	休館日		
6	水			
7	木	11:00-11:30	おはなし会(乳幼児向け)	
8	金			
9	土	14:00-	上映会 (大人向け)『フライト・ゲーム』	★
10	日	10:30-12:30	写真講座	★
		14:00-15:00	おはなし会(子ども向け)	
11	月			
12	火	休館日		
13	水			
14	木			
15	金			
16	土	11:00-12:00	内田美智子先生講演会	
		14:00-	上映会 (子ども向け)『日本の昔ばなし』	★
		14:00-15:00	天気予報講座	★
17	日	11:00-12:00 14:30-16:30	ミニゲームデー	
			想像をカタチに木工教室	★¥
18	月			
19	火	休館日		
20	水			
21	木	11:00-11:30	おはなし会(乳幼児向け)	
22	金			
23	土	11:00-	上映会 (乳幼児向け)『トムとジェリー』	★
		13:30-15:00	童謡まつり	
24	日	14:00-15:00	おはなし会(子ども向け)	
		14:00-16:00	朗読講座	★
		14:00-16:00	冬休み工作チャレンジ	
25	月	14:00-16:00	冬休み工作チャレンジ	
		14:30-16:00	科学WS	★
		14:00-15:30	特別上映会『トムとジェリー』『大統領の料理人』	★
26	火	休館日		
27	水	14:30-16:00	冬休み工作チャレンジ	
		14:30-16:00	科学WS	★
		14:00-	特別上映会『きっと、うまくいく』	★
28	木～1/4	木は休館です	本の返却はブックポストが利用可能	

ピックアップ
金田中2年生ビブリオバトル
一番読みたい「チャンプ本」が決定！！

おすすめの小説を魅力的にPRした山本さん

金田中2年生による書評合戦「ビブリオバトル」が11月10日に行われました。会場の投票で山本志(こころ)さんが紹介した本がチャンプ本に選ばれ、特製の盾が贈られました。紹介された本は2階のふくトラ広場に展示されます。この様子を含め「ふくちのち」がテレビで紹介される予定です。

放送予定▶ 12月30日(土)20:54～21:00 TVQ「飛び出せ!サークルふくおか研」

イベント
明日から役に立つ!
やまもんのオモシロ天気予報講座

日時 ▶ 12月16日(土)14:00～15:00
場所 ▶ 1階 ワクワクワ広場(要申込)
▶天気予報を長年担当し、気象情報の豊富な知識を持つ山本耕一さんがやってきます!天気予報のひと味ちがった「見方」についてわかりやすくレクチャーしてくれます。

「やまもん」の愛称で大人気

イベント
木のぬくもりを感じるものづくり
想像をカタチに 木工教室

日時 ▶ 12月17日(日) ①11:00～②13:30～③15:00～(各回1時間)
場所 ▶ 1階 ものづくりラボ　材料費 ▶ 1,000円
定員 ▶ 各回10人程度(要申込、小学生以下は保護者同伴)

新着本

一般書
- **日本人なら、一度は見ておきたい国宝**(椙出版社)
- **焼かずに作れるケーキ**(日東書院本社) 森崎繭香／著
- **青い花**(小学館) 瀬戸内寂聴／著
- **ほんとうの気遣いのコツ**(大和書房) 三上ナナエ／著

児童書
- **しずかなしずかなクリスマス・イヴのひみつ** クレメント・クラーク・ムーア／詩(BL出版)
- **ゆめのなかのぼうけん**(赤ちゃんとママ社) たちもとみちこ／さく
- **トーストン**(アリス館) 新井洋行／著
- **あそぼう、マジック**(ベースボール・マガジン社) 日本奇術協会／監修

★マークのものは申し込みが必要となります。¥マークのものは有料です。

決算 check

平成28年度 まちの財政通信簿

前年度の決算がまとまりました。歳出額は約186億円で実質収支は約6億円の黒字ですが、単年度収支では4億6千万円の赤字でした。ここで町のお金と財産の現状、今後の課題をチェックします。

決算概要 財政硬直からの脱却

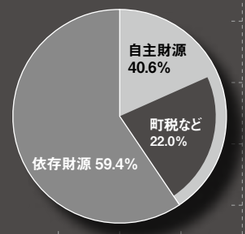
弾力性の高い徹底的な行財政改革を

一般会計の歳入額は192億2千万円、歳出額185億8千万円で、翌年度に繰越すべき財源を除き、約5億9千万円の実質収支黒字となっています。ただし、前年度からの純繰越金が約11億1千万円であり、単年度の収支としては4億6千万円の赤字ということになります。この様に、前年度繰越金や基金の取り崩しで毎年度10億円前後の実質収支黒字を計上しているものの、財政力指数は全国最低水準。また財政構造の弾力性を測る経常収支比率は92.3%と、類似団体平均値と比較すると依然として高い値を示しており、慢性的な財政硬直からの脱却が急務な課題となっています。

01 一般会計歳入

歳入額は約192億2千万円

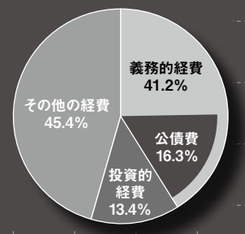
町に入った一般会計の歳入は192億2千万円でした。内訳は国や県に頼った依存財源が59.4%、町でまかなう自主財源が40.6%です。しかし自主財源には基金の取り崩し（約25億8千万円）や前年度からの繰越金（約9億9千万円）が含まれています。町税などの収入は42億3千万円（うち「ふるさと納税」13億7千万円）で全体の22.0%にとどまっています。依存財源で最も多い地方交付税は歳入全体の32.1%を占めています。



02 一般会計歳出

歳出額は約185億8千万円

前年度に町が支出した一般会計の総額は約185億8千万円。これを性質別に見ると、人件費･扶助費･公債費の「義務的経費」が約76億6千万円で全体の41.2%、そのうち借金を返済する公債費は約30億2千万円で全体の16.3%となっています。また「投資的経費」は約24億9千万円で全体の13.4%、そのうち普通建設事業費が昨年より5億3千万円増額の約24億7千万円となっており全体の13.3%を占めています。



03 特別会計

国保会計と診療所会計に赤字補てん

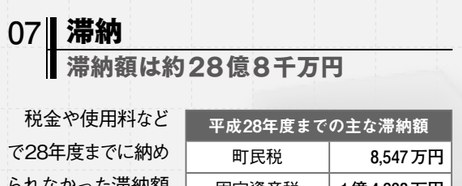
特定事業の特別会計では、国保会計と診療所会計が大幅な赤字を抱えています。ともに前年度より赤字額が縮小してはいますが、一般会計からの赤字補填を行ったためであり、依然として非常に厳しい状況です。

区分	歳入	歳入歳出差引
住宅新築資金等貸付事業	1億321万円	1,146万円
国民健康保険	35億5,913万円	−1億4,151万円
後期高齢者医療	2億6,655万円	366万円
町立診療所事業	7億5,574万円	−2億6,540万円
田川郡町村公平委員会	191万円	125万円
水道事業（収益的事業）	6億567万円	5,765万円

04 地方債（普通会計）

町の借金残高は約201億9千万円

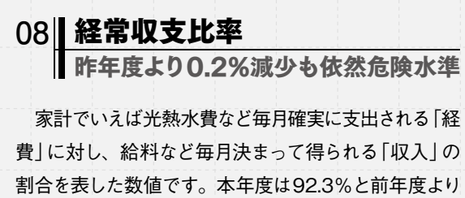
年度を越えて元利を償還する借入金を「地方債」といいます。28年度末の残高は27年度末から約8億6千万円減少し、約201億9千万円となりました。これは約9億円の繰上償還を実施したことが大きな要因です。今後も借金減少に向けて費用対効果を十二分に検討し、慎重な地方債発行を行わなければなりません。



05 基金（普通会計）

町の貯金残高は約175億5千万円

法律や条例に基づいて設置される「基金」は、特定の目的に活用できる町の貯金です。普通会計では24の基金があり、28年度末の残高は約175億5千万円。ふるさと納税など13億円を積み立てましたが、公債費やふるさと納税関連経費として25億8千万円を取り崩したため、前年度比で約1億3千万円の減額となっています。



06 ふるさと納税

約13億7千万円を基金に積み立て

前年度を2億円上回る約13億7千万円の寄付金をそのまま基金に積み立てました。寄付者が選択した4種類の町の使い道ごとに、既存の各基金に積み立てています。

寄付者選択使途目的	基金名	積立金額
町長に一任	減債基金	1億6,948万円
	地域振興基金	3億9,546万円
魅力ある人づくり事業	ふるさとづくり基金	1億7,086万円
活力あるまちづくり事業	地域振興基金	4億4,506万円
住んでみたくなるまちづくり事業	地域振興基金	6,568万円
	福祉基金	6,568万円
	公共施設整備基金	6,568万円

07 滞納

滞納額は約28億8千万円

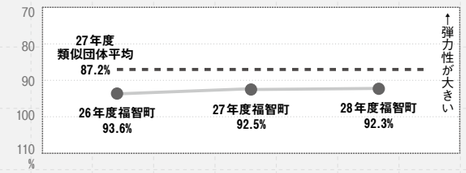
税金や使用料などで28年度までに納められなかった滞納額は約28億8千万円で前年度から2億円の減少となっています。しかし未だ30億円にせまる滞納解消に向けて、差し押さえや法的措置などの厳しい措置を行います。

平成28年度までの主な滞納額	
町民税	8,547万円
固定資産税	1億4,238万円
軽自動車税	1,799万円
国民健康保険税	1億9,965万円
保育料	4,856万円
住宅等使用料	2億9,827万円
住宅管理料	993万円
学校給食費	5,290万円
住宅新築資金等貸付金	17億7,742万円
水道使用料	2億4,647万円

08 経常収支比率

昨年度より0.2%減少も依然危険水準

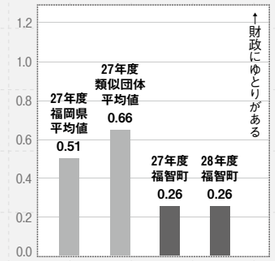
家計でいえば光熱水費など毎月確実に支出される「経費」に対し、給料など毎月決まって得られる「収入」の割合を表した数値です。本年度は92.3%と前年度より0.2%下降したものの、27年度の類似団体数値を5.1%上回っており、依然として財政の硬直化が顕著となっています。今後もより一層の経常経費の削減を図ります。



09 財政力指数

全国最低水準の財政力

基準財政収入額を基準財政需要額で割った過去3年間の平均値が「財政力指数」です。指数が高いほど自力があり、指数が低いほど国への依存が高いといえます。町の財政力指数は27年度類似団体平均値0.66に対し0.26と全国的にも最低水準。今後、地場産業の活性化や企業誘致など、税収確保による財政基盤の強化が必要です。



保健師だより

114

若い人でも要注意！

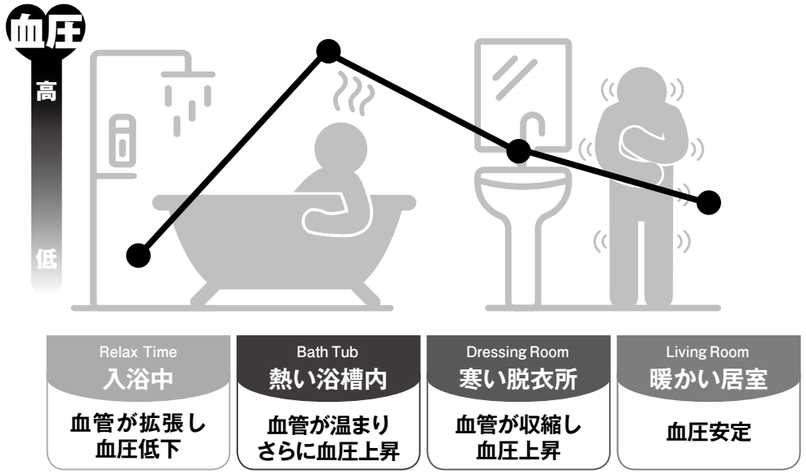
入浴前、脱衣室が寒くなる 冬の時期

お風呂では ヒートショック！ にご用心

「ヒートショック」とは急激な温度変化による血圧の変動が原因の健康障害です。
脳卒中や心筋梗塞、失神を起こす危険があり、入浴中は溺死や急死につながります。

あてはまる人は要注意！

- 65歳以上である
- 高血圧・糖尿病・動脈硬化・不整脈など持病がある
- 肥満気味である
- 睡眠時無呼吸症候群など呼吸器官に問題がある
- 自宅の脱衣室や浴室に暖房器具がない
- “いちばん風呂”や熱い風呂が好き
- お酒を飲んでから入浴することがある



暖 脱衣室や浴室に行くと、体表温度が一気に下がり、体温調節のため血管が収縮して血圧は急上昇します。続いてお湯につかると熱さの刺激でさらに血管が収縮し、脳卒中や心筋梗塞を起こすことがあります。またお湯につかってしばらくすると、今度は血管が温められて拡張し、血圧は急激に低下します。すると心臓や脳へ送られる血液が不足し、不整脈や意識障害を起こして溺れる危険があります。

トイレも体を露出させる場所なので冷え込みやすく注意が必要です。高齢者や高血圧、糖尿病などの病気を持つ人にとって冬の入浴は常に危険が伴います。家族に声をかけて入浴し、時間が過ぎたら様子を見に来てもらうなどの習慣を心がけましょう。

寒くなるこれからの季節 気をつけたい5つの習慣

1 お湯はぬるめに、浴槽につかる時間は短めに

湯温が熱すぎたり、お湯につかる時間が長すぎても血圧変動は大きくなります。湯温は41℃以下に設定し、浴槽につかるのは1回5分までにしましょう。

2 浴槽にいきなり入らず、かけ湯で体をお湯に慣らす

いきなりお湯につかると血圧が急上昇するため、手足など心臓から遠い部分から体の中心に向かって順にかけ湯をして体を慣らしましょう。

3 入浴の前後には水分補給

入浴前後にコップ1杯程度の水分を補給すると血圧低下に効果的です。

4 脱衣室や浴室を暖める

脱衣室に暖房器具を置いたり、浴槽のふたを開けたりして、居室との温度差をなくしましょう。気温の高い日没までに入浴するのも効果的です。

5 食直後の入浴は避ける

食後1時間以内やお酒を飲んだ時は血圧が下がりやすいので危険です。

気象予測情報にもとづく家の中での気温差に注意する指標として、日本気象協会公式の天気予報専門メディアの中に「ヒートショック予報」があります。

tenki.jp 検索

Medical health

保健の掲示板

12月16日から1月15日までの保健事業日程

- **12月20日㈬【4～5か月児健診】**
  4～5か月児を対象（個人通知します）
  ［会場］コスモス保健センター　［受付］13:00～14:00
- **1月5日㈮【健康相談】**
  健診結果や介護など相談希望者を対象
  ［会場］コスモス保健センター　［受付］13:30～15:30
- **1月12日㈮【もぐもぐ教室】**
  4～10か月児を対象にした離乳食教室（要予約）
  ［会場］方城保健センター　［受付］10:30～12:00
  ［申込締切］1月9日㈫までにコスモス保健センターへ
- ※ 金田・方城地区での健康相談をご希望の場合は、コスモス保健センターにお問い合わせください。各保健センターなどで予約制の相談をいたします。

乳がん・子宮がん無料検診≫ 有効期限は2月末です！

無料クーポン券で指定医療機関の検診を受診できる期間は平成30年2月末（医療機関の診療日）までです。

※ 有効期限を過ぎると使用できません。
※ 平成29年に集団健診で乳がん・子宮がん検診を受診した人は使用できません。対象者には5月に個別に郵送しています。

問 コスモス保健センター　☎28-9500

Holiday clinic

【田川地区急患センターの休日診療】

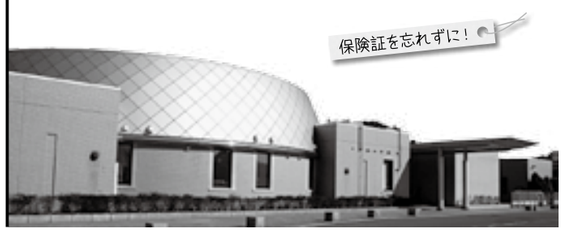
年末年始も診療いたします！

診療日：12月30日㈯～1月3日㈬
※ 保険証（子ども医療証）などは忘れずに持参ください。

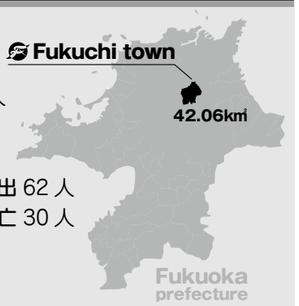
診療時間：【外科】9:00～12:00、13:00～17:00
【内科・小児科】9:00～12:00、13:00～17:00
18:00～23:00

場所：田川市伊田2735番地11（田川市石炭・歴史博物館横）

問 田川地区急患センター　☎45-7199



Population 人のうごき（福智町の人口）



- **人口** 23,258人
  前月比－30人
  前年比－308人
  男性 11,072人
  女性 12,186人
  転入 45人・**転出** 62人
  出生 17人・**死亡** 30人
- **世帯** 11,155世帯
  前月比＋1世帯
  前年比－1世帯

※平成29年10月末現在（住民基本台帳人口）

お亡くなりになったみなさんのご冥福を、心よりお祈り申し上げます。 福智町長・福智町議会議長
弔電はひかえさせていただいています

Tax おさめて安心（税の納期限）

- **固定資産税**［4期］12月25日㈪
- **国民健康保険税**［6期］12月25日㈪

Event チクホーnet（近隣の催し）

【川崎町】カズ山本氏 講演会
12月22日㈮ 18:00受付開始
（川崎町勤労青少年ホーム）
元プロ野球選手のカズ山本氏による講演会。「夢をあきらめるな！」をテーマに、野球に限らずスポーツ全般について語ります。先着300人限定。 参加無料 要申込
問 川崎町教育委員会 社会教育課 ☎72-3000

【田川市】彦山川イルミネーション
12月23日㈯～25日㈪ 17:00～22:00
（彦山川ばんだごうら河川敷）
河川美化の啓発のため、ボランティア団体が巨大イルミネーションを設置。うどんなどの無料配布のほか、子どもにはお菓子をプレゼント。※無くなり次第終了。

↑高さ最大55mの迫力のイルミネーション。約40万の光の粒が冬の夜空と彦山川の水面を美しく彩ります。

問 実行委員会 花村 ☎090-8919-7280

心配ごと相談

12月16日土は司法書士による特別相談を実施します。特別相談は事前予約が必要。相談は無料です。

❶**日時** 12月7日木 10時～15時
場所 人権のまちづくり館
❷**日時** 12月14日木 10時～15時
場所 公民館方城分館
❸**日時** 12月16日土 10時～15時
場所 金田社会福祉センター
❹**日時** 1月4日木 10時～15時
場所 人権のまちづくり館

問 社会福祉協議会 ☎22-6631

補聴器相談

日時 12月8日金 9時～10時
場所 役場 本庁舎
日時 12月11日月 11時～12時
場所 役場 方城支所
日時 12月11日月 13時～14時
場所 役場 赤池支所

問 役場 福祉課 ☎22-7763

交通事故無料相談会

交通事故に関する問題に行政書士が相談を受け付けます。予約不要。来場の際は事故証明や診断書などの資料をお持ちください。

日時 12月9日土 10時～16時
場所 立岩公民館（飯塚市役所前）

問 福岡県行政書士会 ☎092-641-2501

県巡回事故相談

日時 12月18日月 10時～15時
場所 田川市役所

問 交通事故相談所 ☎092-643-3168

子育て支援センター行事

就学前のお子さんと保護者が対象。すべて10時30分開始です。

❶**12月誕生会**▼12月12日火
※12月生まれは前日までに予約。
❷**クリスマス会**▼12月19日火

↑参加希望者は12月8日金までに予約が必要です。サンタクロースとの交流やコンサートが楽しめます。

❸**1月誕生会**▼1月12日金
※1月生まれは前日までに予約。

●子育てサロンを開放しています。
▼月～金 10時～16時

問 子育て支援センター ☎22-2401

人権週間パネル展

12月4日月から12月10日日は人権週間です。期間中は町内小中学生の人権に関する作品を公共施設6か所に分けて展示します。

❶**赤池中・上野小**▼中央公民館
❷**市場小**▼コスモス診療所
❸**金田小**▼役場本庁
❹**金田中**▼金田分館
❺**方城中・伊方小**▼方城分館
❻**弁城小**▼方城支所

問 役場 生涯学習課 ☎22-1521

人権のまちづくり講座

今回は児童養護施設「田川湯山荘」の児童指導委員、内田勇二さんを講師に招いて開催します。参加無料。

日時 12月20日水 19時～
場所 ほのぼの館（伊方）
テーマ 「自らの経験を通して～虐待経験や児童養護施設で働いて感じたこと～」

問 ほのぼの館 ☎22-6290

高濃度PCB使用機器の処分期限

高濃度PCB（ポリ塩化ビフェニル）を使用した大型変圧器・コンデンサーなどは平成30年3月31日土までに処分することが義務付けられています。特に昭和52年3月以前の古い機器がないか確認し、PCBが含まれていることが分かった場合はすぐに保健福祉環境事務所まで連絡してください。

問 嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所 ☎0948-21-4812

ふくちプレミアム商品券の使用期限

今年のふくちプレミアム商品券の使用期限は12月31日日までです。期限を過ぎると使えなくなりますので、お忘れなくご使用ください。

問 福智町商工会 ☎28-5055

職業訓練受講生（2月生）募集

離職などで再就職を希望する人を対象に、専門的知識や技能を学ぶため、職業訓練を実施しています。

募集期限 1月17日水（受講無料）
科目 ❶ものづくりCAD科
❷住環境コーディネーター科
※❶定員15人 ❷定員12人
対象者 ハローワークに求職申込をしている人

問 ポリテクセンター飯塚 ☎0948-22-4988

お歳暮やご家族用に
福天小槌
1割引 全商品

ふるさと納税の生産者が運営する名産品販売サイト「福天小槌」がネット注文で全商品1割引き中です。返礼品でも好評の、加盟10店舗の品々が送料無料でお求めいただけます。

大切な人へのお歳暮に、家族がそろう年末に、ぜひ福天小槌をご利用ください。

←PCやスマートフォンから注文可能

問 福天小槌事務局 ☎22-4303

境界問題無料相談会

近隣との境界に関する問題、土地・建物に関する測量や登記について、土地家屋調査士が無料相談を行います。予約不要。

日時 12月13日水 13時～16時
場所 福岡県土地家屋調査士会北九州支部

問 福岡県土地家屋調査士会事務局 ☎092-741-5780

農業経営収入保険制度

自然災害や農産物の価格低下などによる農業経営者の収入減をサポートする保険制度が始まります。

開始時期 平成31年産から
※品種の限定無し
対象 青色申告を1年以上行っている農業経営者（個人・法人）

問 筑豊農業共済組合 ☎0948-83-1007

特定最低賃金の改定

12月10日日付けで福岡県特定最低賃金（時給）が改定されます。

▼製鉄業、製鋼・製鋼圧延業、鋼材製造業 927円
▼電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業 881円
▼輸送用機械器具製造業 902円
▼百貨店、総合スーパー 846円
▼自動車（新車）小売業 892円
※特定賃金に該当しない産業は、県最低賃金1時間789円を適用。

問 労働局労働基準部監督課賃金室 ☎092-411-4578

みんなでおしゃべり会

子育てについて一人で悩まず、おしゃべり会に参加しませんか。

日時 12月21日木 10時～12時
場所 コスモス保健センター

問 子育てアドバイザー 岸谷さん ☎090-7380-4558

年末年始の火葬業務について

田川地区斎場の年末年始の休日は1月1日月のみです。

問 田川地区斎場 ☎42-8002

介護のお仕事復帰セミナー

介護関係の有資格者を対象に、技術の復習や再就職を支援するセミナーを開催。参加無料。

日時 12月10日日・17日日・24日日 13時～16時
場所 飯塚研究開発センター他
対象 介護福祉士か介護関係研修課程修了者で介護分野に就業していない人（先着20人）

問 福岡県社会福祉協議会 ☎092-584-3310

危険物取扱者試験

田川地区消防本部で2月10日土に受験に向けた準備講習会も開催。

申込期間 12月18日月～1月10日水
試験日 3月4日日
場所 福岡県立大学

問 田川地区消防本部 ☎44-0650

建物を新築・増築・取り壊したとき

次の場合は役場税務課までご連絡ください。ただし建物を登記および滅失登記する場合は連絡不要です。

▼建物を新築・増築したとき
▼建物の全部または一部を取り壊したとき

↑正確な税金額を算定するため、早めの連絡にご協力をお願いいたします。

問 役場税務課賦課係 ☎22-7762

放送大学4月入学生募集

放送大学はBSデジタル放送やインターネットを利用して自宅にいながら学習できる通信制の大学です。15歳以上であれば無試験で入学でき、大卒と同じ学位が取得できます。

募集締切▼2月28日水

問 放送大学福岡学習センター ☎092-585-3033

四季の歌

心映の投句

俳句・短歌教室の詠歌紹介

ともしび短歌会短歌詠草

頂きし栗の皮むき一時間 黄の実の増えて食欲のわく　福田キヨ子
木の葉散る空見上ぐれば碧空を飛行機雲の直線消えゆく　白石 清和
憂きことはしばし忘れむ懐かしのパリ思ひつつ聴く「ラ・ビアン・ローズ」　村上 美幸
金木犀みごとに咲けどその香り わかたぬ身となり空を見上げぬ　桑野 昭子
綿菓子のごとき浮雲青空に割り箸持ちて束ねてみたし　白石 信子
病院の外の銀杏は黄となりぬ雨降りくれば蝶のごと散る　越智 早苗
よく来たと主治医の言葉にはげまされ歩行車押して今日も通院　三村 和子
真夜中に障子打つ音しきりして灯して見れば老いし蟷螂　福田 昌

岩井鬼童選

高齢者大学・はな句会

年の暮れ今年一年感謝して　井上サワ子
冬山の陰のかかって木立かな　福島ソマ子
粛茶と雨も音なき枯野かな　馬郡 京子
箒目の砂紋の流れ散る紅葉　熊谷カツミ
思ひ出の旅は信州一茶の忌　大久保幸子
日に映えて石蕗の黄にとぶ蜆蝶　日高八重子
御仏に真紅の毛帽新らしき　松本みつを
荒磯を急ぐ人影散紅葉　山本 弘
キャンバスの冬の怒涛の波しぶき　香月 眸
鴨の来て隠沼あたり賑やかに　小場 妙子
数人の友との集る冬ぬくし　高津 澄子
華やかな姿眼裏枯芙蓉　千手 弘子

池田一歩選

福智町金田公民館俳句教室

火のごとき権現山の紅葉かな　松岡 蔦枝
菊月夜仏師の鑿に魂生るる　建部三由紀
犬と猫仲良く眠り冬近し　西田 真美
秋祭り終へ横笛と眠りけり　岩井 童子
父祖の山譲る子もなく木の実落つ　小川 雪
海原へ注ぐ大河や天高し　桂 啓子
秋晴の一日惜しみてひと日老ゆ　加藤きみ子
生も死も神のみこころ星流る　小野 美幸
秋祭伝統守る親子笛　植木 チエ
かけっこで負けてくやしい運動会 小四　西田 咲笑

方城句会

心病む己の愚かさ秋灯下　倉石 小夜
猪垣や思ひもよらぬ能古島　白石 凡子
月近し病む人遥か定めとも　杉 フジエ
心意気コスモスに見る過疎の村　長尾 冴子
友禅の菊水崩し秋の女　藤井耿之介
岩影に冬へ標の蘭の花　山本恵美子
薄雲の日の目隠して冬に入る　渡邊 一枝
一本の柿蒼天を深くする　尾崎 和子
鈴響き舞ふて阿国の神迎　木村 誠一

池田一歩選

福智の風

▶「昔は近所の人が作った野菜を分け合うような付き合いも多かった。作った人の話を聞くと同じ物でも美味しく感じるんよね」と話してくれた梅田さん。そこには作り手の時間と愛情が込められた付加価値がありました。物の価値をお金でのみ判断するのではなく、背景に思いをめぐらせられるか。そのことが人生を豊かにするのだと思います。(日吉)

▶スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋と多様に表現される10・11月。心地よい気候の中、多くのイベントが催されました。伺う先々で顔見知りも増え、声をかけてもらえることをうれしく感じています。催しのために熱意や努力をそそぐ多くの人たち。人との輪を広げ、交流を深めたからこそ伝わることを感じ、紹介していきたいと思います。(田代)

今昔写真が語る なかの写真館

練り歩く山笠
撮影日●不明
撮影場所●金田新町商店街

人形師の手で合戦絵巻を表した華麗な装飾が施され、新町商店街を勇壮に練り歩く山笠。写真からも伝わる活況は、五穀豊穣・無病息災の祈りとともに次代に受け継がれています。

昔の写真を探しています！
問本庁2階広報・広聴係
☎22-7766

1 しなやかな動きの舞踊 2 華麗な衣装で異国的なダンス 3 表千家流の茶席体験 4 体育館を埋める多様な作品群 5 ラストを飾った藤かおりさん 6 保育園児も興味津々 7 100人以上が美声を披露 8 迫力の打楽器4重奏 9 幅広い年齢層がキレのあるダンス 10 碁石の音だけが響く会場

Pickup Topics ピックアップトピックス

● 第11回 福智町文化祭
主催／福智町文化連盟

個性魅せる文化の彩

一人ひとりの個性を歌や絵画、舞踊などを様々な形で表現する文化祭。3週間にわたり町をあげて行われた祭典は、芸術深まる秋にふさわしく、町を「文化の色」一色に染めました。

11月3日、文化の日。3千点以上の作品が金田体育館と金田分館に並ぶ「作品展示」で華々しく幕を開けた「第11回福智町文化祭」。2日間で3千人を超えた来場者は、出店も充実した会場で作品の技巧や表現を堪能しました。4日には「歌謡・詩吟発表会」が行われ、45人が自慢のノドを披露。翌日の「ふれあいコンサート」では、歌や演奏など40曲の美しい音色が会場に響きました。11日・12日は舞台を地域交流センターに移し「芸能発表会」を開催。ダンスや日舞、民踊を幅広い年齢層が披露しました。最終日の19日には中央公民館で「囲碁大会」が行われ、盤上で静かな熱戦を展開。試合を終えた参加者も足を止め、戦いの行方を見守りました。

自分を表現する場として、回を重ねるごとに定着した文化の祭典。一人ひとりの文化に彩られ、3週にわたって活況をリレーしました。

↑昨年に引き続き大人気だった商工会主催の「福天似顔絵大会」。参加した43人が特徴を捉えながら思い思いに町のマスコットを描きあげました。福天と触れあう姿も多く見られ、子どもたちが体験企画に親しむきっかけとなりました。

福智町敬老会
長寿祝い健康願う感謝の式典

70歳以上の約800人を対象とした敬老会が10月28日に金田体育館で行なわれました。来賓の敬意を込めた祝辞に始まり、保育園児の太鼓演奏や県立大生による寸劇、文化連盟の演目で来場者をおもてなし。会場は最後の商品券抽選会までほぼ満席で、旧友との再開や昔を懐かしむ談笑になごやかな空気が流れました。

↑指導員とともに、会場一体となって笑顔ではつらつと行われた高齢者体操。

↓遠くは愛媛県などまで飛ぶというエコ風船。見えなくなるまで手を振りました。

金田小で人権教室
ひまわりの種に願いを込めて

金田小3年生が自ら育てた人権の花・ひまわりの種をエコ風船に付け、大空へと放ちました。花を育てることで命の大切さを学ぶ「人権の花運動」の一環で、田川人権擁護委員協議会が10月27日に主催。この日は人権教室も行われ、児童は種を入れた袋に「思いやりの心を大切に」などのメッセージを書き込みました。

↓紅葉の赤と苔むした緑が映える熊谷無造窯の庭園、露地の風情にため息をもらすツアー客のみなさん。

読売旅行の3市町村連携ツアー
初の大型ツアーに約千人来訪

秋深まる11月に福智町を含む3市町村をめぐる日帰りバスツアーが、読売旅行により企画されました。1か月間で24回にわたる町内初の大型ツアーに、大分県と山口県から965人が参加。昼食はふじ湯の里が試行錯誤を重ねた30品目のバイキングに舌鼓。熊谷無造窯では上野焼の展示や移りゆく紅葉が美しい庭園を満喫し、ツアー客から絶賛の声が寄せられました。

市場小が北九州空港を見学
離着陸や機体を間近に体感

市場小5年生57人が10月27日に北九州空港を見学しました。まちづくりを支援するJALの協力で実現。特別に滑走路に入ることができ、飛行機の離着陸や機体を間近で観察。機長と副機長が解説に降り立つサプライズもあり、子どもたちは最後まで感激した表情のまま、機影が見えなくなるまで手を振り続けました。

↑憧れの操縦士が機体説明、子どもたちにとっての大空への夢が広がりました。

↓斜面に広がるコスモス畑は、営農組合の畑を約2か月かけて組合員が整備。

コスモスフェスタ
来場者を鮮やかに包む一面のコスモス

弁城地区営農組合主催の「コスモスフェスタ」が10月22日に行われ、約千㎡に広がる満開の花畑が来場者を迎えました。入り口付近には地域の特産や郷土料理の露店が並んだほか、袋に詰め放題のイモ掘りや枝豆とりは例年以上の大盛況。赤・白・ピンクに美しく咲き誇るコスモス畑を家族で楽しむ姿が多くみられました。

第11回 福智町グラウンドゴルフ大会決勝
練習の成果を会心の一打に込めて

赤池・金田・方城の各地区予選を勝ち抜いた29チームによるグラウンドゴルフ大会決勝が11月5日に方城グラウンドで行われました。晴天で迎えた大会は約30回のホールインワンが飛び出すなど、例年以上にハイレベルな戦い。試合は野添Cチーム（方城）が緑ヶ丘NT（赤池）との1打差の接戦を制し、見事優勝を飾りました。

↑全16ホール中最長の50mの1番ホール。ショットの行方に他チームも注目。

↓自然の中で走る・触れる・見るなど五感を使って体験する「ネイチャーゲーム」。

金田地区リーダー研修会
地元のふれあい塾で絆育む体験学習

子育連金田支部主催の「リーダー研修会」が11月11日から2日間ふれあい塾で行われました。金田の小中学生25人が籠（かご）作りの創作活動や自然体験の「ネイチャーゲーム」などで自主性や協調性を学習。子どもたちは集団生活や自然との触れ合いをとおして、最終日には一回り力強くなった顔つきで2日間を振り返りました。

Fukutama ふくち玉手箱

みんなでつくる
ごきげんなページ“ふくたま”

HAPPY BIRTHDAY 12月生まれ

松村 昊音（まつむら ひろと）くん 2
H27.12.6 生（金田 上金田）

木本 百奏（きもと ももか）ちゃん 2
H27.12.5 生（神崎 神崎2）

小松 逞哉（こまつ ゆきや）くん 1
H28.12.29 生（赤池 生力）

松野 巴暖（まつの はのん）ちゃん 1
H28.12.19 生（伊方 東ヶ丘）

船原 冬磨（ふなはら とうま）くん 1
H28.12.10 生（伊方 野添）

小林 小桜（こばやし こはる）ちゃん 1
H28.12.2 生（弁城 迫）

笑顔募集中！

申込期限は毎月お誕生月の前月10日（土・日・祝日の場合は翌開庁日）。1月生まれのお子さんは12月11日（月）までに写真またはデータを提出してお申込みください。（締切厳守）

▶広報係 ☎22-7766

渡邉 陽葵（わたなべ はるき）くん 3
H26.12.29 生（金田 上金田）

内村 倖毅（うちむら こうき）くん 3
H26.12.17 生（金田 若草団地）

田代 朝燈（たしろ あさひ）ちゃん 3
H26.12.15 生（弁城 春田）

立花 珀羅（たちばな はくら）くん 3
H26.12.2 生（赤池 車道）

久冨 千里（ひさとみ せんり）くん 2
H27.12.18 生（金田 本町）

米家 瑠璃華（こめいえ るりか）ちゃん 2
H27.12.18 生（神崎 南木）

内納 杏（うちのう あん）ちゃん 2
H27.12.15 生（金田 人見団地）

同門の２人が柔道大会で殊勲の金メダル

→百人以上が参加する大会での優勝

金田小6年の和田伊織さんと4年の中村常一郎くんが10月22日に行われた「第12回嘉麻市少年柔道大会」の学年別の部でそれぞれ金メダルを獲得しました。同じ道場に通う2人はともに初優勝で、賞状とメダルを手に喜びをかみしめました。

県の文化事業でプロ和楽団が伊方小に

→心臓に響く大音量を間近で体験

国内外で活躍する和楽団「ジャパンマーベラス」が11月9日に伊方小で演奏会を開きました。県主催の「芸術体験講座」の実施校に選ばれ、5年生57人が観賞。大迫力の演奏やダシリと響く太鼓の鼓動を受け、和楽の伝統を体感しました。

お城のような園舎を舞台に夢の催し

→園庭で観賞した季節外れの花火

中央保育所で10月20日に映写会と花火が行われました。悪天候で中止した夏祭りの花火をなんとか園児に見せたいという思いで、保育士らが急きょ企画。園舎に映し出されたアニメや10種の花火に、73人の園児と保護者は興奮の連続でした。

認知症への理解呼びかけタスキつなぐ

→テーマ色のオレンジにそろえて

認知症になっても安心して暮らせる地域を目指す啓発イベント「RUN伴（とも）＋（プラス）」が11月4日に田川地区で行われました。ふくちのち前をスタートした参加者は、スーパーや駅で啓発しながら一本のタスキをリレー。ゴールの田川市を目指しました。

音楽の力で募金と共に被災地へエール

→来庁者も足を止め聴き入った歌声

田川合唱団によるチャリティーコンサートが、11月9日の昼休みに役場本庁ロビーで行われました。26人のメンバーが童謡など6曲を披露し、2曲を来場者と共に合唱。およそ30分で19,987円が集まり、九州北部豪雨被災地へ届けられました。

教師生活の思いつづった書籍出版

→経験に基づく教訓も多数収録

金田小や市場小などで校長を歴任した原田宏志さんが書籍「日本人として受け継ぎたいこと」を出版しました。同書は原田さんが38年の教師生活で学び伝えたことを100話のエピソードにまとめたエッセイ。ふくちのちにも寄贈されています。

金田小児童が相撲大会初出場で快進撃

→休憩や放課後も練習を重ねた6人

「第6回田川チビッコ相撲大会」が11月4日に田川市で行われ、金田小児童が好成績を収めました。団体戦では前年優勝チームを破り準優勝。学年別の個人戦でも持丸陸くん（5年）が準優勝、古田宝くん（6年）が3位入賞と大活躍でした。

上野３区で力作並ぶ手づくりの文化祭

→絵画や手芸など百点以上を展示

「上野ふれあいミニ文化祭」が10月27日からの3日間行われました。上野3区公民館で作品展示や露店販売のほか、消防車の乗車体験やマジックショーなどを開催。地区外からの問い合わせも多く、会場には絶えず人が訪れていました。

雨払う熱

顔とも言える武者人形を守るため、覆いに包まれながらもやわらかな光を放つ山笠は、いつもとは違う光景を浮かび上がらせます。前例の無い両日の雨の中、祭りを愛する人々の熱気は逆に例年以上の高まりを見せました。

金田・神崎山笠 競演会

電飾煌めく山笠が並び立つ圧巻の競演

金田稲荷神社 神幸祭

福智の秋の深まりを告げる風物詩「金田稲荷神社神幸祭」と「金田・神崎山笠競演会」。250年以上受け継がれる伝統の神事や絢爛な山笠運行は、祭りファンを町内外から集めました。

曇り空を打ち払うかのようなかけ声とともに、「稲荷神社神幸祭」が10月21・22日に行われ、町を祭り一色に染めました。金田6地区では山笠が轍の跡を残しながら、色彩豊かな法被でそろえた舁き手とともに勇壮な姿を披露。村回りを終えると神社下でご神体を乗せた神輿を迎え入れ、御旅所への「お上り」「お下り」に付き添い五穀豊穣と無病息災を願いました。

夜には神崎4地区が加わり、計7基の山笠が会場の金田駅裏イベントパークに集結。コンクリート舗装を施し強度を増した広場で重量5トンを超える山笠が対になり、豪快に練り回す姿は来場者の心を奪いました。

前日以上に舁き手が集まった2日目でしたが、開始直前の強雨で無情にも競演は中止に。突然の幕切れに、惜しみつつ帰路につく人や雨に打たれ立ち尽くす人の姿が印象的でした。それぞれの思いは地元でのかけ声となり、夜更けまで町に響きました。

食育だより

体育の創意工夫や関心を高める食育で主体性を伸ばしてきた授業。

3年間の研究成果発表

市場小が県重点課題で体育・食育を研究

平成27年度から3年間に渡り、福岡県の重点課題である「体力向上に向けた効果的な取り組み」の研究を指定委嘱された市場小が、11月2日に最終報告会を開きました。体育と食育の環境や活動、授業づくりを通した研究成果が発表され、県内から約200人の教職員が参加。「体力向上に向けて主体的に取り組む子どもの育成」をテーマに、運動や食育に関する授業が公開され、子どもたち自らが率先して体力づくりに取り組むように成長した3年間の過程や日常の姿も伝えられました。

児童への事前アンケート結果をもとに、3年1組で行われた公開授業。参加した34人の栄養教諭が教室を囲み、熱心にメモを取っていました。

県給食コンクール最高賞

田川地区代表で三浦調理員が県知事賞

後日贈呈された受賞献立のレプリカを手に、喜びをかみしめる三浦俊祐調理員。

福岡県教育委員会主催の学校給食料理コンクールが、10月17日に筑紫野市で開かれ、田川地区代表で参加した三浦俊祐調理員（金田中）が最優秀賞を受賞しました。調理技術、味、栄養など7項目の審査に28校が参加。独自の献立やアイデアと技術を1食280円程度（中学校）、40分の制限内で腕を競いました。福智町初となる県知事賞に輝いた献立は「サクサクアジフライ・ミニトマトソース、小松菜のゆず胡椒（こしょう）サラダ、洋風すいとん、梨のソーダゼリー」。福智産にこだわった栄養と味のバランスの高さが、最高の評価を獲得しました。

朝ごはんの大切さ実感

伊方小で澤村栄養教諭が公開授業

筑豊地区11市町村の栄養教諭を対象とした研修会が、10月19日に伊方小で開かれました。「朝ごはんの大切さを知ろう」の題材で、福智町の澤村真奈美栄養教諭が食育授業を公開。家庭でのふりかえりや例を示しながら、子どもたちの関心や意欲を高め、生活リズムの見直しにつなげました。

広報ふくち ■発行／福智町（本庁）〒822-1292 福岡県田川郡福智町金田937番地2 ■URL／http://www.town.fukuchi.lg.jp
■編集／福智町役場 TEL 0947-22-0555 FAX 0947-22-3500 ■印刷／川崎印刷